

介護職員等処遇改善加算等 実績報告書(令和6年度)

1 基本情報

フリガナ	シャカイフクシホウジン ダイユウカイ		
法人名	社会福祉法人 大裕会		
法人所在地	〒 286-0044 千葉県成田市不動ヶ岡2012番地3		
フリガナ	タベイ マサミ		
書類作成担当者	田部井 正見	E-mail	tabei@daiyuukai.jp
連絡先	電話番号 0476-37-3117	E-mail tabei@daiyuukai.jp	

2 実績報告について

(1) 加算額以上の賃金改善について(全体)

算定した加算の合計	
① 令和6年度の加算額	(a) 24,757,031 円
i) うち、令和5年度と比較して令和6年度に増加した加算額	(b) 24,757,031 円
うち、令和7年度の賃金改善に充てるためアに繰り越す部分の額	(c) 0 円
② 令和6年度に賃金改善が必要な額(a - c)	(d) 24,757,031 円
③ 令和6年度の賃金改善額 (②の額以上となること)	(e) 24,757,031 円

令和5年度と比較した令和6年度の増加分						
④ 令和5年度と比較して令和6年度に増加する加算額(繰越分を除く。)(b - c)	(f) 24,757,031 円					
令和6年度に④を原資として行う新たな賃金改善額 (g) (ベースアップ(基本給及び決まって毎月支払われる手当の一一律の引上げ)によるもの)	(g) 12,383,594 円					
⑥以外で、その他の手当、一時金等による新たな賃金改善の額 (h) 12,373,437 円	(h) 12,373,437 円					
⑦ 新たな賃金改善額の合計(g + h)	(i) 24,757,031 円					
⑧ ベースアップの実施	<table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 実施した</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 実施していない</td> <td>実施した場合、ベースアップ率</td> <td>実施していない場合、やむを得ない事情</td> <td>令和6年4月新規開設。</td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> 実施した	<input checked="" type="checkbox"/> 実施していない	実施した場合、ベースアップ率	実施していない場合、やむを得ない事情	令和6年4月新規開設。
<input type="checkbox"/> 実施した	<input checked="" type="checkbox"/> 実施していない	実施した場合、ベースアップ率	実施していない場合、やむを得ない事情	令和6年4月新規開設。		

(2) 加算以外の部分で賃金水準を下げないことについて

① 令和6年度の加算の影響を除いた賃金額	(j) 188,817,626 円
(ア) 令和6年度の賃金の総額	(k) 213,574,657 円
(イ) 令和6年度の賃金改善額(再掲)	(l) 24,757,031 円
(ウ) 令和6年4・5月分の処遇改善支援補助金の総額	(m) 0 円
② 令和5年度の加算及び独自の賃金改善の影響を除いた賃金額(①の額は②の額を下回らないこと)	(n) 43,488,831 円
(ア) 令和5年度の賃金の総額	(o) 43,488,831 円
(イ) 令和5年度の旧処遇改善加算の総額	(p) 0 円
(ウ) 令和5年度の旧特定加算の総額	(q) 0 円
(エ) 令和5年度の旧ベースアップ等加算の総額	(r) 0 円
(オ) 令和6年2・3月分の処遇改善支援補助金の総額	(s) 0 円
(カ) 令和5年度の各介護サービス事業者等の独自の賃金改善額	(t) 0 円

【記入上の注意】

- (o)には、職員構成が変わった等の事由により、例えば、本年度に入職(退職)した職員と同等の賃金水準の職員が前年度から在籍していた(いたかった)ものと仮定して計算するなどの方法により、今年度との比較に適した値に修正することが可能である。
- (p)～(r)は、国民健康保険団体連合会から送付される「介護職員処遇改善加算等総額のお知らせ」及び「介護職員処遇改善加算等内訳のお知らせ」に基づいて記入すること。(m)～(s)は、国民健康保険団体連合会から送付される「介護職員処遇改善支援補助金 支払額通知書」及び「介護職員処遇改善支援補助金 支払額内訳書」に基づいて記載すること。

(3)令和5年度の独自の賃金改善(処遇改善加算等の配分以外の独自の賃金額)

- 2(2)②(力)の「令和5年度の各介護サービス事業者等の独自の賃金改善額」に計上する場合は記載すること。

独自の賃金改善の具体的な取組内容	
独自の賃金改善額の算定根拠	

3 介護職員等処遇改善加算の要件について

(1)月額賃金改善要件Ⅱ(旧ペア加算相当の2/3以上の新規の月額賃金改善)【新加算Ⅰ～Ⅳ】

※新加算Ⅰ～Ⅳを算定するまで旧ペア加算又は新加算Ⅴ(2)・(4)・(7)・(9)・(13)を算定していなかった事業所のみ

(2)月額賃金改善要件Ⅲ【旧ペア加算】※4・5月分のみ

【令和6年4月・5月に新規にベースアップ等加算を算定する場合】
⇒ 介護職員とその他の職種のそれぞれについて、賃金改善の見込額の3分の2以上を、ベースアップ等(基本給又は決まって毎月支払われる手当の引上げ)に充てられる計画になっていること

①新規に算定した旧ベースアップ等加算の額	173,007 円	←	
②旧ベースアップ等加算による賃金改善の額(i・iiの合計)	173,017 円	←	
介護職員	i)旧ベースアップ等加算による賃金改善の見込額 <small>うち、ベースアップ等(基本給又は毎月決まって支払われる手当の引上げ)による賃金改善額</small>	141,355 円	← ← (<input type="text" value="100.00"/>) % ←
		141,355 円	
その他職員	ii)旧ベースアップ等加算による賃金改善の見込額 <small>うち、ベースアップ等(基本給又は毎月決まって支払われる手当の引上げ)による賃金改善額</small>	31,662 円	← ← (<input type="text" value="100.00"/>) % ←
		31,662 円	

(3)キャリアパス要件Ⅰ・Ⅱ



計画書で記載した内容から変更がない場合は左欄にチェック(✓)すること。

(4)キャリアパス要件Ⅲ

計画書で記載した内容から変更がない場合は左欄にチェック(✓)すること。

-
-
-
-

(5)キャリアパス要件Ⅳ(改善後の賃金要件)

【新加算Ⅰ・Ⅱ、V(1)～(7)・(9)・(10)・(12)、旧特定Ⅰ・Ⅱ】

キャリアパス要件Ⅳ 次のイとロ両方の基準を満たす。

旧特定加算Ⅰ・Ⅱの要件(4・5月)	⇒ <input checked="" type="radio"/> (別紙様式3-2「キャリアパス要件Ⅳについて」の欄から転記)
新加算Ⅰ・Ⅱ、V(1)～(7)・(9)・(10)・(12)の要件(6月以降) 〔令和6年度の算定予定①」の期間について〕	⇒ <input checked="" type="radio"/> (別紙様式3-3「キャリアパス要件Ⅳについて」の欄から転記)
新加算Ⅰ・Ⅱの要件(6月以降) 〔令和6年度の算定予定②(期中移行)」の期間について〕	⇒ <input checked="" type="radio"/> (別紙様式3-3「キャリアパス要件Ⅳについて」の欄から転記)

-
-
-
-

(6)職場環境等要件

【新加算Ⅰ・Ⅱ、V(1)～(7)・(9)・(10)・(12)又は旧特定Ⅰ・Ⅱを算定する】

該当

⇒ 届出に係る計画の期間中に実施した事項について、チェック(✓)すること。複数の取組を行い、「入職促進に向けた取組」、「資質の向上やキャリアアップに向けた支援」、「両立支援・多様な働き方の推進」、「腰痛を含む心身の健康管理」、「生産性向上のための業務改善の取組」、「やりがい・働きがいの醸成」の6区分について、それぞれ1つ以上の取組を行うこと。

区分	内容	該当
入職促進に向けた取組	<input checked="" type="checkbox"/> 法人や事業所の経営理念やケア方針・人材育成方針、その実現のための施策・仕組みなどの明確化 <input type="checkbox"/> 事業者の共同による採用・人事ローテーション・研修のための制度構築 <input type="checkbox"/> 他事業からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者・有資格者等にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築 <input type="checkbox"/> 職業体験の受入れや地域行事への参加や主催等による職業魅力度向上の取組の実施	
資質の向上やキャリアアップに向けた支援	<input checked="" type="checkbox"/> 働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対する喀痰吸引、認知症ケア、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援等 <input type="checkbox"/> 研修の受講やキャリア段位制度と人事考課との連動 <input type="checkbox"/> エルダー・メンター（仕事やメンタル面のサポート等をする担当者）制度等導入 <input type="checkbox"/> 上位者・担当者等によるキャリア面談など、キャリアアップ等に関する定期的な相談の機会の確保	
両立支援・多様な働き方の推進	<input type="checkbox"/> 子育てや家族等の介護等と仕事の両立を目指す者のための休業制度等の充実、事業所内託児施設の整備 <input checked="" type="checkbox"/> 職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換の制度等の整備 <input checked="" type="checkbox"/> 有給休暇が取得しやすい環境の整備 <input type="checkbox"/> 業務や福利厚生制度、メンタルヘルス等の職員相談窓口の設置等相談体制の充実	
腰痛を含む心身の健康管理	<input type="checkbox"/> 介護職員の身体の負担軽減のための介護技術の修得支援、介護ロボットやリフト等の介護機器等導入及び研修等による腰痛対策の実施 <input checked="" type="checkbox"/> 短時間勤務労働者等も受診可能な健康診断・ストレスチェックや、従業員のための休憩室の設置等健康管理対策の実施 <input type="checkbox"/> 雇用管理改善のための管理者に対する研修等の実施 <input type="checkbox"/> 事故・トラブルへの対応マニュアル等の作成等の体制の整備	
生産性向上のための業務改善の取組	<input checked="" type="checkbox"/> タブレット端末やインカム等のICT活用や見守り機器等の介護ロボットやセンサー等の導入による業務量の縮減 <input type="checkbox"/> 高齢者の活躍（居室やフロア等の掃除、食事の配膳・下膳などのほか、経理や労務、広報なども含めた介護業務以外の業務の提供）等による役割分担の明確化 <input type="checkbox"/> 5S活動（業務管理の手法の1つ。整理・整頓・清掃・清潔・躰の頭文字をとったもの）等の実践による職場環境の整備 <input type="checkbox"/> 業務手順書の作成や、記録・報告様式の工夫等による情報共有や作業負担の軽減	
やりがい・働きがいの醸成	<input checked="" type="checkbox"/> ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善 <input type="checkbox"/> 地域包括ケアの一員としてのモチベーション向上に資する、地域の児童・生徒や住民との交流の実施 <input type="checkbox"/> 利用者本位のケア方針など介護保険や法人の理念等を定期的に学ぶ機会の提供 <input type="checkbox"/> ケアの好事例や、利用者やその家族からの謝意等の情報を共有する機会の提供	

(7)その他(指定権者に対する特段の連絡事項等がある場合等については、以下の欄に記載すること。)

※ 給与明細や勤務記録等、実績報告の根拠となる資料は、指定権者からの求めがあった場合に速やかに提出できるよう、適切に保管しておくこと。
 ※ 本様式への虚偽記載のほか、旧3加算及び新加算の請求に関して不正があった場合並びに指定権者からの求めに応じて書類の提出を行うことができなかった場合は、介護報酬の返還や指定取消となる場合がある。